

野村先生によるベイトソンセミナー

「ダブルバインドがもたらしたものは何か!？」

本ワークショップは、名古屋市立大学の野村直樹先生を講師とし、セミナー形式でベイトソンについて語り合うものです。かの有名なダブルバインド理論で知られるグレゴリー・ベイトソンは、文化人類学者でありながら、その研究領域は精神医学、コミュニケーション理論、生物学、進化論、認識論、エコロジーまで及び、20世紀を代表する思索・思想家とも言われています。

今回のベイトソンセミナーは、「ダブルバインド」を取り上げ、それがもたらしたものについて再考することをテーマに行います。統合失調症の病因としての母親あるいは家族との特徴的なコミュニケーションと誤解されがちな「ダブルバインド」ですが、ベイトソンの意図は「関係・パターンでものごとを見ていく認識論への転換」と考えられます。そのため、ダブルバインド理論が提唱された「精神分裂症の理論化に向けて」の4年後に発表され、「ダブルバインド理論が隣接諸科学に迫る認識論的転換」と見出しがつけられている「精神分裂症の理論に必要な最低限のこと」(1960)の論文を題材とします。当日は野村先生からのレクチャーから始め、参加者のお一人からのレジュメ発表をもとにグループディスカッションを行っていきます。

ベイトソンは大事だと分かっている、難しく一人では勉強しにくいもの。ぜひこの機会に野村先生と共に、語り学び合い、一緒にベイトソンの世界を体験してみませんか？

- 講師:野村直樹(名古屋市立大学)
- 主な著書:「やさしいベイトソンーコミュニケーション理論を学ぼう!」、「みんなのベイトソン」(金剛出版)、「ナラティヴ・時間・コミュニケーション」、「協働するナラティヴ」(遠見書房)
- 日時:2014年9月28日(日) 10:00~17:00
- 会場:板橋グリーンホール403会議室 東武東上線「大山」駅または都営三田線「板橋区役所前」駅から徒歩5分
<http://www.itabun.com/index.html>
- 参加費:一般7千円。学生5千円(当日会場にてお支払下さい)
- 参加資格:ベイトソンや野村先生に興味があること ★定員:25名
- お申込み方法:下記メールアドレスに、お名前、ご所属、職種などを明記の上、お申込み下さい
shinrigijyutukenkyukai115@yahoo.co.jp

*1:なるべく『精神の生態学』(新思索社)の「精神分裂症の理論に必要な最低限のこと」(p340~371)の論文をお読みの上、ご参加ください。

*2:論文が入手できないなど何かご質問、ご要望がありましたら、メールにてその旨ご相談下さい。

*3:ワークショップ終了後に、野村先生を囲んでの懇親会を予定しております。宜しければご参加ください。

★セミナーの内容など野村先生に直接お尋ねしたいことがありましたら、下記アドレスまでご連絡ください

nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp

